

平成25年度部局運営方針（消防局）

1 部局の方針

(1) 基本方針

市民の消防需要に的確に対応するよう消防力の整備・充実に図り、各種政策を限られた財源の中で効率かつ効果的に発揮し「市民の安全性を高める消防行政」を展開する。

(2) 現状、課題(特に重要な課題を明確にしてください)

1. 複雑化・多様化・高度化する災害への対応

都市機能の複雑化・少子高齢化・核家族化といった社会情勢の変化に伴い、災害においても火災や救急などへのニーズは増加するとともに、大規模自然災害、複雑な施設や多様な危険物災害、テロ災害、武力攻撃事態等、著しく複雑化・多様化・高度化している状況であるなか、柏市においても同様の変化が生じており、これら災害への対応を求められている。

2. 総合性の発揮と柔軟な組織体制

市民の消防需要に対応した十分な消防力の水準を確保するためには、各業務を的確に実施するのに必要な職務能力を保持した上で、複数の分野にまたがる総合的な職務能力を高める必要があり、柏市においても更なる能力向上が必要である。

また、消防団や市長部局などの関係機関をはじめ、地域の企業、大学や自主防災組織などの様々な主体との「協働」や「連携」を最大限に生かした取り組みが必須である。

3. 大規模災害への体制強化

東日本大震災のように単独の市では対応できない大規模な災害をはじめ、NBC災害（核・生物・化学災害）などの特殊な災害、原子力災害や武力攻撃事態等から、市民の生命・身体・財産を保護するためには、柏市の防災体制をさらに強化することと同様に、他市や県、自衛隊などの関係機関との広域的な応援体制を確保することが必要である。

(3) 目指す方向、重点目標

1. 複雑化・多様化・高度化する災害への対応

あらゆる災害に的確に対処するためには安全基盤の整備が必要不可欠であり、災害に強い通信インフラや消防庁舎・消防資機材の整備を進め、本市消防の機動力が常に活かせる環境を目指す。

2. 総合性の発揮と柔軟な組織体制

職務能力の向上を目的として、救急業務の高度化や火災予防対策の充実強化を推進する。

また、人材育成やコンプライアンスの強化に積極的に取り組むとともに、職員一人ひとりが危機管理意識をもち、市民が災害に対し安心感を実感することができる消防サービスを目指す。

3. 大規模災害への体制強化

大規模自然災害に対応する消防体制の強化を図るため、東日本大震災を教訓とした「柏市消防局震災対策アクションプラン」に掲げる施策等を推進し、柏市自身の自然災害への対策を強化する。

また、関係機関と広域的な応援体制を確保するための整備を進める。

(4) 施策、目標達成の取り組み (施策の優先順に記入してください)

1. 複雑化・多様化・高度化する災害への対応

消防体制の充実並びに消防力の維持向上を図るため、消防署等の拠点施設の充実、消防車両・資機材等の計画的な更新・維持補修を進める。特に拠点施設については、大室分署の移転整備を進める。

2. 総合性の発揮と柔軟な組織体制

(1) 救急救命体制の充実

市民と消防が一体となって救命率を向上させる各種取り組みを推進するとともに、救急救命士の養成、車両・資機材等の計画的な更新・維持補修を進め、救急救命の高度化を進める。

(2) 火災予防体制の推進

防火安全対策として、立入検査等により指導するとともに、市民生活において身近な製品が火元となる火災が発生しており、その再発防止が求められる中、火災原因究明の向上を図る。

また、地域の防災力向上や防災リーダー等の育成を進める。

(3) 人材育成とコンプライアンスの強化

複雑化・多様化・高度化する災害と市民ニーズに的確に対応していくため、「柏市消防局人材育成基本方針」に基づき、効果的な職員研修等による人材育成を行うとともに、公務員倫理の向上と厳正な服務規律の確保など、コンプライアンスに関する取り組みを推進する。

3. 大規模災害への体制強化

大規模災害への組織体制の見直し、通信体制の確保、関係機関との連携強化、消防施設・設備の強化を進める。

(5) 平成25年度の取り組み

| | 施策 | 取り組み、事業、目標等 |
|---|---------------------|--|
| 1 | 複雑化・多様化・高度化する災害への対応 | <ul style="list-style-type: none">・大室分署移転整備事業 建設関係事業は平成25・26年度の2ヶ年継続事業・庁舎維持管理事業 旭町消防署の屋根及び内外部改修工事・消防車両等更新整備事業 更新車両10台（消防車関係6台、救急車1台、その他3台） 防火衣の更新 空気製造設備及び防火衣専用洗濯機の整備・通信指令施設維持管理事業 署活系（活動用携帯）無線機の充実強化 |
| 2 | 総合性の発揮と柔軟な組織体制 | <ul style="list-style-type: none">○救急救命体制の充実<ul style="list-style-type: none">・救命講習事業の拡大 救命講習会用資機材の整備・救急救命士養成事業 救急救命士2名養成、認定救命士の拡大・救急資機材整備事業 除細動器、監視モニターの更新整備 |

| | | |
|---|-------------|---|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・市民の救急窓口相談事業 電話による医師や看護師が行う救急窓口の設置 ○火災予防体制の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・火災調査体制の充実 火災調査資器材の整備 ・地域の防災力向上 自衛消防力の確保と防災リーダーの育成 ○人材育成とコンプライアンスの強化 <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成体制の充実 派遣研修体制の確保 (初任研修20名, 専科研修19名, 研修要員の確保) 階層別研修の実施 ・コンプライアンスの強化 危機管理研修の実施 ・交通事故防止対策 緊急自動車運転技能講習 |
| 3 | 大規模災害への体制強化 | <ul style="list-style-type: none"> ・自家用給油取扱所の整備 設計・建設工事 ・防災情報カメラ増設事業 25年度設計委託, 26年度設置工事 ・消防局災害対策指揮本部整備事業 指揮本部の整備, TV会議システム整備 ・消防計画の見直し 大規模災害時における組織体制等の見直し強化 ・受援活動拠点の確立(訓練センター未整備用地の平面整備) 25年度現地調査委託, 26年度設計, 27年度工事 |

(6) 経費縮減, 財源確保の取組み

1 平成25年度の取組み

- ①車両等の更新整備について, 国県の補助金等の積極的確保
- ②経常経費の根本的必要性の再検討

中期的な取組み

- ①各種更新整備の期間再検討(出来得る限りの延命計画)

2 予算要求

(1) 要求額(一般会計)

単位: 千円, %

| | 歳入 | | 歳出 | |
|------------|---------|-------|-----------|------|
| | 金額 | 増減率 | 金額 | 増減率 |
| 平成24年度当初予算 | 524,328 | — | 5,726,810 | — |
| 平成25年度要求 | 399,361 | △23.8 | 5,456,565 | △4.7 |

※歳入, 歳出の差は市税等一般財源を充当します。

(2) 前年度との比較（相違，工夫，主な増減理由等 1の(6)と重複可）

1 歳入

減額分

- ・ 25年度は防衛交付金該当地区の事業がないため減額となる。
- ・ 指令施設のデジタル整備が24年度に完了したため，振興協会助成金が減額となる。

増額分

- ・ 新たに「消防団員安全装備品整備等助成金」の確保に努める。

2 歳出

減額分

- ・ 24年度にデジタル整備が完了したため，約13,000万円減額
- ・ 車両更新について，24年度に比べ高額な特殊車両が減ったことによる減額

増額分

- ・ 大室分署移転に伴う建設費計上による増額
- ・ 災害対策指揮本部設備新設による増額
- ・ 自家給油施設建設による増額
- ・ 25年度から消防救急デジタル設備の負担金が発生することによる増額
- ・ 救急窓口相談事業の創設による増額